

## 幼稚園ねっとお裁縫部 「裏地付き絵本バッグの作り方」

できあがりサイズ横30センチ×縦40センチ(A4ファイルが入る大きさ)。裏地付きなので、ジグザグミシンが不用で、仕上がりがきれい！また底布をつけているので、キルティングの角が傷んでほつれることもありません。3年間の使用に十分にたえられる丈夫なバッグです。

用意するもの

材料: 全て縫い代1センチ込み。カッコ内は見本写真の色柄。

【表布】横42センチ×縦62センチ(きのこ柄)

【裏布】横42センチ×縦62センチ(黄色・無地)

【底布】横42センチ×縦25センチ(水玉)

【持ち手布】横4センチ×縦35センチを2本(水玉)

【アクリルベルト(青)】2.5センチ幅・35センチを2本

お好みでポンポンブレードやレース、テープなどの飾り

裁断の時は、生地を縦(伸びない方が縦)におきましょう。またキルティングは裁断後ほつれやすいので、すぐ作業するようにしましょう。

持ち手を作ります。まず、持ち手布をアイロンで2センチ幅に折って、アクリルベルトに縫い付けます。布の両端を縫うとよいでしょう。アクリルベルトにレースなどを縫い付けても可愛いですね。



表布に底布を付けます。底布の上下を1センチずつ折り、表布の中央とあわせて縫い付けます。



お好みで、ポンポンブレードやレース、テープなどを縫い付けるといいですね。ポンポンブレードは、ずれやすいので少し難しいかもしれません。その他、縫い付けるタイプのアップリケやポケットなども、この時点で付けておきます。



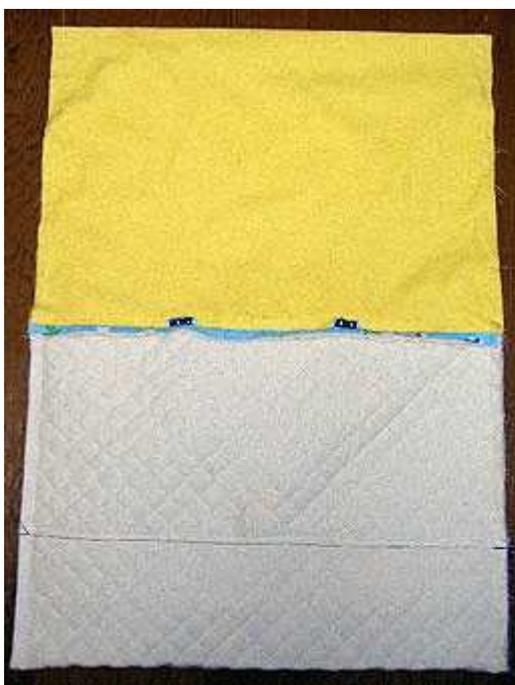
表布に持ち手を仮留めします。表布の入れ口（下を輪にしての上部）の真ん中（横42センチの半分21センチの所）から、それぞれ6センチのところに、持ち手を縫い付けます。入れ口の上部の端から8ミリくらいのところがよいでしょう。表裏を間違えないでくださいね！ミシンでも手縫いでもOKですが、厚みがあってずれやすいので、マチ針やしつけ糸を使ってまっすぐに留めましょう。



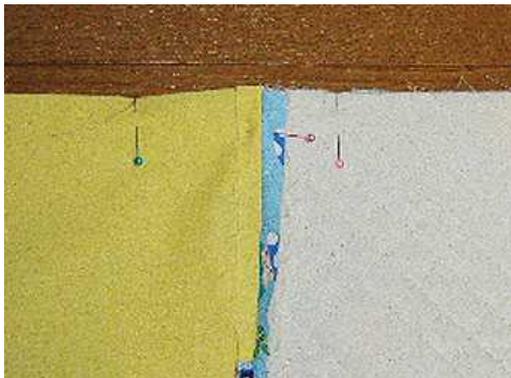
表布と裏布を中表（表同士が向き合うように）におき、入れ口1センチのところを縫います。同じく持ち手がずれないように注意しながら、もう一つの入れ口も縫い付けます。これで表布と裏布がつながり、中表で輪になっている状態です。



開いて写真のように折ります（中表で輪になったまますらし、持ち手のついた入れ口のラインを合わせる）。



入れ口の縫い代はアイロンで割っておきます。



両脇1センチのところを続けて縫いますが、どちらか片方は10センチくらいの返し口を残しておきます。



返し口から、ひっくり返して表にします。返し口は、手縫いでとじましょう。



裏布を中に戻し、入れ口にアイロンをかけ、端から2ミリのところを1周縫います。縫い始めは目立たない脇の部分の方がよいでしょう。ミシンによっては、台をはずすと、筒状の物が縫いやすいです。



裏地がついた袋物は、この手順で簡単きれいに完成です。

